新ごみ処理施設整備検討スケジュール

業務 ＼ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備　考
広域化実施計画策定													
検討委員会		①		②	③	④			⑤		⑥		ごみ処理広域化の基本方針、ごみの分別・収集方法、減量化など施設整備のあり方について必要な事項を協議し、協議会の会長に提言する。 識見者、市・町・組合議会議員、住民代表、廃棄物事業の関係者、大学教授で構成（計27名）
一般廃棄物処理広域化実施計画（2年次）策定業務委託	発注▲												
施設整備方針の検討													
処理体制の検討													・9月上旬：処理システムの検討 ・11月下旬：事業方式等の検討
ごみ焼却施設及びリサイクルセンターの整備基本構想													・9月上旬：施設規模、必要敷地面積、計画ごみ質等の検討 ・11月下旬：処理方式、エネルギー利用及び地域還元の方針検討
最終処分場の整備基本構想													・9月上旬：施設規模、必要敷地面積等の検討、処分場タイプ、浸出水施設規模 ・11月下旬：環境保全方針、跡地利用の方針等の検討
既存施設の有効利用													
生活排水の処理計画													・今後の施設整備計画の検討 ・汚泥等の有効利用の検討
施設整備スケジュールの検討													
候補地選定													
候補地選定会議		①		②	現地踏査 ③					④	⑤		中間処理施設（ごみ焼却場・リサイクルセンター）ならびに最終処分場の建設候補地について抽出、評価を行い、検討結果を協議会の会長に報告する。 副市町長等、協議会の幹事で実施（計7名）
一般廃棄物処理施設建設候補地選定業務委託	発注▲												
基本方針の設定													・建設候補地選定方針の整理 ・施設整備方針の確認（施設の基本条件は広域化実施計画策定にて設定） ・必要敷地面積、アクセス道路、地質・地形、インフラ等の基本条件の設定
立地適正エリアの抽出													・防災、土地利用計画、自然環境保全、生活環境保全等の除外区域を設定したネガティブマップの作成 ・廃棄物の運搬効率、アクセス道路との近接、地形・地質の条件等、施設整備に有利と考えられる地区を整理したポジティブマップの作成 ・ネガティブマップとポジティブマップを合成し、立地適正エリアを抽出
一次建設候補地の抽出													・立地適正エリアの中から、中間処理施設6箇所程度、最終処分場6箇所程度を一次建設候補地として抽出 ・一次建設候補地の評価・選定、及び二次建設候補地の評価を行うための評価基準、評価項目の設定
一次建設候補地の現地踏査 一次建設候補地の評価・選定													・一次建設候補地を対象とした現地踏査 ・評価基準、評価項目の評価内容を設定し、◎（高い）、○（中位）、△（低い）の3段階程度で一次建設候補地を評価し、中間処理施設3箇所程度、最終処分場3箇所程度を二次建設候補地として抽出
二次建設候補地の現地踏査 二次建設候補地の評価													・二次建設候補地の現地踏査 ・評価基準、評価項目毎に配点を決め、二次建設候補地の中間処理施設3箇所程度、最終処分場3箇所程度について、定量的評価を実施し、二次建設候補地を評価
最終評価													二次建設候補地の評価に基づき、選定会議において建設候補地の最終評価　→　協議会の会長へ報告

回数	検討委員会　議題（案）
第1回	・広域化実施計画(1年次)の報告 ・広域化実施計画(2年次)策定業務 ・建設候補地選定業務について
第2回	先進地視察研修
第3回	ごみの分別区分の検討
第4回	・処理システムの検討結果 ・各施設の施設規模等基本条件の検討結果
第5回	・ごみ焼却施設及びリサイクルセンターの整備基本構想 ・最終処分場の整備基本構想
第6回	・提言書の最終確認

回数	候補地選定会議　議題（案）
第1回	・施設候補地選定方針の確認 ・施設整備方針の確認 ・建設候補地条件の確認 ・立地適性エリアの項目確認
第2回	・一次建設候補地の抽出 ・評価基準、評価項目の設定
第3回	一次建設候補地の評価・選定
第4回	・一次建設候補地の選定結果報告 ・二次建設候補地選定の評価（点数化）
第5回	二次建設候補地の評価・検討に基づく最終評価